

令和元年度石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅲ期）

「学習指導の改善を図る研修会」

第1回、第2回研修会

- 日時 令和元年5月20日（月）、21日（火）9：25～
- 場所 桃生公民館会議室
- 講師 広島大学大学院教育学研究科
附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



今年もお世話になる栗原教授。



熱心に討論される校長先生方

☆研修内容

20日午前：MLA総論（校長対象）

20日午後：MLA推進に係る教頭の役割（教頭対象）

実践発表 桃生中 三浦教諭、須藤教諭

21日午前：PBIS（中学校区ごとの検討）

21日午後：交流分析によるコミュニケーション分析

SEL部、ピア・サポート部、協同学習部、PBIS部と4つの部門で取り組んでいる成果や、課題となったところを今年度の取組にどう生かしていくかについて、実践発表をしていただきました。特に、SEL部で作成したビデオは身近な場面を想定したもので、大変参考となる取組です。



<受講者の声>

- ◇ 生徒指導上の問題が起きると、どうしても対処指導になってしまう。その言動の裏にある根本の部分に目を向けることが最も大切であるというお話に大変感銘を受けた。
- ◇ 校長を対象とした研修のおかげで、今年一年頑張ろうという思いを新たにできた。
- ◇ 「他者と社会に貢献できる子供を育てる」には、包括的な生徒指導へのシフトが必要であること、社会性、パーソナリティ、学力、キャリアのすべてを育てるプログラムが必要であることが印象に残った。
- ◇ 各学校の現状に合わせ、どのように研修や実践を進めていくかが管理職としての最大の課題であると感じた。
- ◇ 意外にも（管理職が）信頼されているという意見が多いことに驚きを感じるのと同時に、その期待に応えていかねばと強く思った。
- ◇ 桃生中の実践発表がとても参考になった。若手の先生方の力が発揮されていることがすばらしい。
- ◇ 学校には、目標やめあてが乱立している。分かりやすく整理していく必要がある。行動チャートはそれらを包括して、児童の指針となるようにしていきたい。
- ◇ 中学校区の先生方と情報交換や今後について具体的に話し合うことができ、とても有意義な時間となった。
- ◇ PBISはクラス全体の評価はしていたが、個人に対して直接カード等を渡すようなことをしていなかった。評価の仕方についても見直していきたい。



「エゴグラムチェックリスト」の資料をデータで送付しております。先生方もやってみてはいかがでしょうか？